

令和 2 年度

全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門）

開催要項

1 研究主題

「図書館とバリアフリー —あらゆる人に開かれた図書館とは—」

2 趣 旨

「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）が令和元年 6 月 28 日に公布・施行されました。障がいの有無にかかわらず、全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に向け、図書館の一層の寄与が期待されるところです。

今回の研究集会では、図書館利用等に関するバリアを取り除くための様々な取組みの報告を通して、図書館が今なにをすべきか、なにができるのか、図書館の可能性を探る機会としたいと思います。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意し、インターネット配信により開催いたします。

3 主 催

公益社団法人 日本図書館協会 公共図書館部会
近畿公共図書館協議会
大阪公共図書館協会

4 主 管

大阪府立中央図書館

5 対 象

全国の公共図書館及び関係機関の職員、学校及び教育委員会の関係者、図書館活動の関係者並びに図書館に関心のある方

6 配信期間

令和 3 年 1 月 15 日（金曜日）10 時 ～ 令和 3 年 1 月 31 日（日曜日）17 時

7 内 容

■基調講演

「読書バリアフリーと図書館」

野口 武悟氏（専修大学文学部）

（講師略歴）専修大学文学部教授、放送大学客員教授。1978年栃木県生まれ。筑波大学大学院図書館情報メディア研究科修了、博士（図書館情報学）。2006年に専修大学に入職し、2014年から現職。これまでに文部科学省子供の読書活動の推進に関する有識者会議委員、一般社団法人日本子どもの本研究会会長（代表理事）などを務め、現在、東京都第四次子供読書活動推進計画検討委員会委員、各地の図書館協議会委員、公益社団法人日本図書館協会障害者サービス委員会委員などを務める。子どもの読書、障がい者サービス、電子書籍サービスなどについて研究している。

■講演

「すべての人が必要ながん情報を得られる社会へー図書館と医療分野の連携ー」

八巻 知香子氏（国立がん研究センター）

（講師略歴）国立がん研究センターがん対策情報センター室長。東京大学教育学部比較教育社会学コース卒業、東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学修了、博士（保健学）。国立障害者リハビリテーションセンター研究所流動研究員、日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、2008年に国立がん研究センターがん対策情報センターに入職し、2016年より現職。障がいのある人を含め、すべての人が必要な健康医療情報を得られる環境づくりに向けた事業や研究を担当している。

■事例報告（1）

「矯正施設・児童自立支援施設等への支援」

正井 さゆり氏（広島県立図書館）

■事例報告（2）

「障害者への理解と合理的配慮ー大阪府立中央図書館を例にー」

糟谷 佐紀氏・竹村 美紀子氏（NPO法人ユニバーサルサービスアカデミー）

■事例報告（3）

「多様な文化や言語が活きる図書館をー外国につながる人たちと、絵本とともにー」

梨木 亜紀氏（NPO法人おおさかこども多文化センター）

■事例報告（4）

「枚方市立図書館における読書バリアフリーの取組み」

服部 敦司氏（枚方市立中央図書館）

■事例報告（5）

「河内長野市立図書館におけるバリアフリーの取組みー施設訪問を中心にー」

浅井 育子氏（河内長野市立図書館）

■情勢報告

「読書バリアフリー法に関する国の動向」

荒木 正寛氏（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課図書館・学校図書館室）

8 視聴方法

改めて申込者宛にメール等にてご案内申し上げます(YouTube 配信予定)。

9 参加申込

■参加費： 無料

■定員： なし

■申込期間： 令和 2 年 12 月 15 日(火曜日)～令和 3 年 1 月 22 日(金曜日)

■申込方法： インターネットからお申込みを承ります(電話・FAX は受付できません※)。

下記「大阪府立中央図書館ホームページ;お知らせ」にてご案内いたします。

<http://www.library.pref.osaka.jp/site/central/>

※障がいなどの状況により、配慮が必要な方は事前にご相談ください。

10 お問い合わせ

令和 2 年度 全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)

実行委員会 (担当:徳森)

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内

電話： 06-6745-0170

FAX： 06-6745-0262

メール： somuk@library.pref.osaka.jp